

支援計画シート(案)

氏名 ○○○○

年齢 29 歳

性別 男

(作成者 ○○○○

/ 作成日

2021 年 1 月 〇 日)

現在の生活や将来の生活について	
(1)本人の希望	心身ともに、安定して穏やかに過ごしたい。定期的に好きなものを楽しみたい。
(2)家族の希望	穏やかに過ごして、作業ができて、本人が楽しめる生活を送ってほしい。月に1・2回くらいの自宅への帰省があって、それで喜べるようにしてやりたい。

本人の代表的なエピソード(気になる行動)	現在行っている対応
(1) 本人なりに分かりやすさを求めて、他者を指標にする(“巻き込んで”しまう)。	(1) 視覚支援・ルーティーンや職員間の統一などで、分かりやすい支援を心掛ける。
(2) 本人に干渉してくる人や騒がしい環境では、不安げな表情や混乱があって調子を崩しやすい。	(2) 刺激の少ない住環境(壁、他の部屋との距離)や、時間差出勤。
(3) 調子を崩すと、不眠・浅眠やアトピー性皮膚炎の悪化につながる。	(3) 不調が強くなるまでに、頓服薬の服用。薬の確実な塗布。

インテーク	アセスメント			プランニング	
情報の収集・整理 (現在の生活)	分かったこと・推測したこと (本人の特性) ※特性確認シートに代えても可	支援課題 (本人が困っていること)	強み・ストレングス (本人の特性のリフレーミング)	対応・方針 (やろうと思うこと・支援のアイデア)	
(障害) 知的障害、広汎性発達障害 (疾病) アトピー性皮膚炎 (検査結果) 26歳時 新版K式検査 全領域2歳3ヶ月、認知適応2歳6ヶ月、言語社会1歳4ヶ月 (専門機関からの情報) 障害の意味では、分かりやすさや刺激・情報の調整、および、職員間の統一が支援のポイント。 (ADL) 食事は、概ね自立。排泄・洗体等は、仕上げが必要だが、不調時は拒否的。支払等は、ほぼ全介助。 (家族構成、住環境(学校含)) 父、母、弟、祖母(認知症)。GH在住。 (成育歴) 自宅での破壊行動がひどくなり、中学部2年～高等部と21歳から入所。 (興味・関心のあること、好きなこと) ラーメン(すがきや)、プリン、レモンティー、「いつも通り」の生活 (得意なこと) 見通しを持っていてときの作業は、精度が高い。視覚支援で、理解が向上しやすい。 (苦手なこと) 言葉数や雑音の多さ。そういうことをする人。「いつも通り」の崩れ。 (コミュニケーション) 話し言葉は、場面とのセットでパターンのに理解している程度(検査所見より)。 (その他) 過去に虫歯で不調に。	体に関すること いわゆる感覚過敏。精神的な不調時には、不眠・浅眠や皮膚炎がひどくなり、それによって精神的に不調に陥る悪循環が生じやすい。身体的不調で精神面が崩れやすいが、その自覚が難しい。	① 分かりにくい状況・環境が苦手で、他者を指標にしようとする。他者を指標に始めたときは、分かりにくさにしんどさを感じているサインであることが多い。(例:Aさんが入浴に入った後に自分の入浴の順番になると、その数日後から入浴のタイミングにAさんを指さして「はい、はい!」と連呼する。)	① 分かりやすいコミュニケーションや流れが必要。加えて、言葉かけを少なくして、視覚支援を使い、職員で対応を統一する。これらにより、作業を高い精度で多くがなされるし、不眠等にもつながりにく笑顔が多い。	① 「いつも通り」のパターンである、一定のルーティーンを保障する。(例:日課の順番。作業内容を3種類に限定。施設外に出る活動は、午後が中心。ヘルプ利用による外食は、水曜日ですがきた一択。) 絵カードの活用、および、特に“巻き込み”が生じやすいタイミングにチャイムなど“人”による言動以外の「始まり」「終わり」の指標を作って、統一する。	
	心や気持ちに関すること 分かりにくさや情報過多が苦手で、そういった環境では自ら他者を指標にして安心感を得ようとする(“巻き込む”)。しかし、実際は自分の見通しの通りに他者は動かないことも多く、イライラやさらなる混乱につながりやすい。	② 「いつも通り」の継続だけだと、その“早送り”が強くなって、むしろしんどくなる。あるいは、本人なりのアレンジで細かいルール(“巻き込み”)が増えて、長期的にはしんどくなりやすい。	② 「いつも通り」を崩す変更も、分かりやすかつ少しなら、むしろ本人の安定につながる。	② 以下の環境は、好調につながりやすい。また、しんどい状況になっても、以下の支援を強めると回復しやすい。 1) 静かな環境や少ない情報。(例:居室の壁に防音素材。他者が本人のパーソナルスペースに入ることを防ぐ構造。言葉かけを減らす。時間差出勤。外出は、すいている曜日・場所へ。) 叩く・興奮等のパターンになってしまった人は、一時的に距離を置く。 2) 特に本人が“巻き込み”を生じさせやすいタイミングについて、職員の対応を細かく統一して、厳格に守る。 3) 不眠時頓服薬。興奮時頓服薬。塗り薬。濡れた冷たいタオルでの清拭。 4) 毎週水曜日の定期的なヘルプ利用。	② 3種類の作業の実施順は、固定化しない。(毎回朝の会で予告。) 平日のヘルプ利用。ヘルパー・日によって、ルートや行き先が異なることがある。
	コミュニケーションに関すること 視覚支援が有効だが、本人は「はい、はい!」と言葉かけを求めてくる面もある。文字の理解は不十分だが、簡易な絵や写真は一定理解できる。	③ 以下の環境では、しんどさを感じやすかったり、分かりにくさに対する混乱やイライラが増悪しやすい。 1) 特に、音や人・感情が多くある空間や、そこで手持無沙汰な時間帯があること。(ここから、近くにいる他者を叩いてしまうこともある。) 2) 職員によって対応が違う。 3) 不眠、浅眠、アトピー性皮膚炎 4) お楽しみが少ない。(例:ヘルプでのラーメン屋やプールへの外出)	③ 以下の環境は、好調につながりやすい。また、しんどい状況になっても、以下の支援を強めると回復しやすい。 1) 静かな環境や少ない情報。(例:居室の壁に防音素材。他者が本人のパーソナルスペースに入ることを防ぐ構造。言葉かけを減らす。時間差出勤。外出は、すいている曜日・場所へ。) 叩く・興奮等のパターンになってしまった人は、一時的に距離を置く。 2) 特に本人が“巻き込み”を生じさせやすいタイミングについて、職員の対応を細かく統一して、厳格に守る。 3) 不眠時頓服薬。興奮時頓服薬。塗り薬。濡れた冷たいタオルでの清拭。 4) 毎週水曜日の定期的なヘルプ利用。	③ 左記の実施	
	社会的・環境に関すること (家庭、施設、学校、地域資源、友人など) 本人思いの家族だが、“巻き込み”→行動障害が高じて家庭生活が困難になった。GHでも同様の面があるが、支援方法の検討やその統一によって一定安定した。			[その他] 混乱時・興奮時に声掛けすると、余計に混乱等につながりやすい。絵カードやその時に使う具体物を見せることを優先する、および、制止・修正の声かけは少なくして、何をすべきかを短く伝える。また、支援者や周囲の人を少なくして距離をとることで、刺激を減らす。場合によっては、頓服薬を予防的に服用してもらう。	

支援手順書 兼 記録用紙

資料 A - ①

利用者名	Aさん	作成日	2021年1月〇〇日	作成者	〇〇〇〇
サービス提供日時	2021年1月〇〇日 〇時〇〇分 ~ 〇時〇〇分			提供者	〇〇〇〇

時間	スケジュール (活動)	サービス手順		留意点	記録 (利用者の様子等)	
		(利用者の動き)	(支援者の動き)		〇、△、×	
9:30	迎え		本人を呼んでもらう前に、GH職員から様子等引継ぎを受け、財布・昼食後薬・頓服を受け取る。	本人の様子が不穏であれば、本人を呼ぶ前に頓服を服用してもらうように依頼する。		
9:35	玄関 → 乗車	GH職員からプールセットとおやつを受け取り玄関へ。靴を履いて車に乗車。	本人が玄関に来たら挨拶をし、本人が靴を履いたら車へ誘導する。			
9:35	予定の確認	予定を確認する	今日の予定をボードに上から順に絵カードを貼ることで提示しながら説明する。説明する際は上から順に指で指し示しながら「〇〇に行きます」と伝える。	店舗が休みなどの場合は、他の行き先の絵カードを提示する。		
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		
10:30	プール(始まり)	入館 → 着替え	①介護者が先に降車し、本人を館内へ誘導する。 ②入館手続きを支援者が行った後、本人を更衣室に誘導する。			
11:30	プール	支援者に合わせて体操 → 水中歩行を5往復する。1往復ごとに回数カードをフィニッシュBOXに入れる。 【終】カードが無くなれば終了 → 支援者に合わせて体操	①本人に見本を示しながら体操をする。 ②【始】プールサイドに往復回数カウント用のボードを用意し、本人と一緒にプールへ入り水中歩行を先導する。1往復ごとに回数カードをフィニッシュBOXに入れてもらう。 ③【終】カードが無くなればプールから上がり、本人に見本を示しながら体操をする。	体操の内容・手順は支援者の間で事前に統一しておく。		
11:30	プール(終わり)	シャワー → 着替え → 乗車	①シャワーに誘導 ②更衣室に誘導する。 ③着替え終了したら、車へ誘導する。			
11:35	予定の確認	【終】プールのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	①予定をボードを提示し、本人にプールのカードをポーチに片付けてもらう。 ②次の行き先のカードを指で指し示すことで注目してもらいながら「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		

12:00	スガキヤで昼食	ラーメンを注文 → 席に座る → ラーメンを運ぶ → ラーメンを食べる → トレーを片付ける	①介護者が先に降車し、本人を店内フードコートに誘導する。 ②介護者がラーメン(ネギ抜き)のミニソフトセット(チョコ)の注文と支払いをする。 ③本人を座席に誘導。 ④タイマーが鳴ったら商品を本人と一緒に取りに行き、本人に運んでもらう。 ⑤本人が食べ終わったら、トレーを返却場所まで運んでもらう。 ⑥車へ誘導。	過度の刺激を避けるために、フードコートでは出来るだけ人の少ない座席へ誘導する。		
12:45	予定の確認	【終】スガキヤのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	①予定をボードを提示し、本人にプールのカードをポーチに片付けてもらう。 ②次の行き先のカードを指で指し示すことで注目してもらいながら「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		
13:15	コンビニ	プリンとレモンティーを購入し車内で食べる	①プッチンプリン(大)、リプトンのレモンティー500mlパックを支援者が商品を手に取りレジに持っていき支払いをする。 ②購入した商品を本人に渡す。 ③車へ誘導し、車内で購入したものを食べてもらう	リプトンのパックのレモンティーが無い場合はリプトンのペットボトルのレモンティー、午後の紅茶のレモンティーの順で代用。		
13:30	予定の確認	【終】コンビニのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	①予定をボードを提示し、本人にコンビニのカードをポーチに片付けてもらう。 ②その後、次の行き先のカードを指で指し示すことで注目してもらいながら「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		
13:45	公園	駐車場についたら鞆に入っているおやつを車内で食べる。	①駐車場についたら、予定ボードのおやつのカードを見てもらいながら声かけを行う。 ②本人がおやつを食べている間に必要な書類を記入する。 ③出発の用意ができたなら予定ボードを提示し、公園のカードをポーチに片付けてもらう。 ④出発。	おやつを食べた後、本人が待ちきれない様子であれば、書類が途中であってもGHに帰ることを優先する。		
13:55	降車 → 玄関	【終】車から降り玄関へ、GHに帰宅	①駐車場についたら介護者が先に車を降り、本人をGHに誘導する。 ②GH職員に本人の様子引継ぎをし、おつりの確認を行ってから財布を返却。 ③記録等をGH職員に渡す。	公園で本人が待ちきれない様子ときは、本人をGHに送り届けた後に書類を記入する。		

【特記事項（考慮すべき点）】

○予定確認用のボードと絵カード(行き先のイラスト)とフィニッシュ用のポーチ、プール用のボードと絵カード(回数)とフィニッシュ用のBOXをそれぞれ用意する

○不穏時は頓服を服用する、液体リスパダール1本(100ml)を水に混ぜて服用、1日2回まで、2回目は1回目服用後6時間空けて。

○予定確認用の絵カードは行き先のイラストを使用し、専用のボードにその日の予定を上から順に貼る。終了した予定の絵カードは本人に外してもらい、片付け用のポーチへ入れてもらう。

○館内や店舗が混み合うことで本人に過度な刺激となることがあるので、できるだけ人の少ない空間に誘導するようにする。また、駐車場が混み合い本人の過度の刺激になることがあるので、ヘルプ車輛の駐車場所を先に確認しておく、スムーズに支援しやすい。

○行き先が休館・定休日などの場合は最初の予定確認時に別の行き先を提示する必要がある。そのため、事前に確認が必要。 滋賀県立障害者福祉センターのプール ➡ におの浜ふれいあいスポーツセンターのプール ➡ 皇子山公園で散歩 フォレオー里山店のスガキヤ ➡ 餃子の王将近江大橋東店 ローソン馬場一丁目店 ➡ セブンイレブン大津におの浜2丁目店

支援計画シート(案)

氏名 ○○○○

年齢 29 歳

性別 男

(作成者 ○○○○

/ 作成日

2021 年 1 月 ○ 日)

現在の生活や将来の生活について	
(1)本人の希望	心身ともに、安定して穏やかに過ごしたい。定期的に好きなものを楽しみたい。
(2)家族の希望	穏やかに過ごして、作業ができて、本人が楽しめる生活を送ってほしい。月に1・2回くらいの自宅への帰省があって、それで喜べるようにしてやりたい。

本人の代表的なエピソード(気になる行動)	現在行っている対応
(1) 本人なりに分かりやすさを求めて、他者を指標にする(“巻き込んで”しまう)。	(1) 視覚支援・ルーティーンや職員間の統一などで、分かりやすい支援を心掛ける。
(2) 本人に干渉してくる人や騒がしい環境では、不安げな表情や混乱があって調子を崩しやすい。	(2) 刺激の少ない住環境(壁、他の部屋との距離)や、時間差出勤。
(3) 調子を崩すと、不眠・浅眠やアトピー性皮膚炎の悪化につながる。	(3) 不調が強くなるまでに、頓服薬の服用。薬の確実な塗布。

インテーク	アセスメント			プランニング
情報の収集・整理 (現在の生活)	分かったこと・推測したこと (本人の特性) ※特性確認シートに代えても可	支援課題 (本人が困っていること)	強み・ストレングス (本人の特性のリフレーミング)	対応・方針 (やろうと思うこと・支援のアイデア)
<p>(障害) 知的障害、広汎性発達障害 (疾病) アトピー性皮膚炎 (検査結果) 26歳時 発達段階2歳3ヶ月</p> <p>(専門機関からの情報) 障害の意味では、分かりやすさや刺激・情報の調整、および、職員間の統一が支援のポイント。 (ADL) 食事は、概ね自立。排泄・洗体等は、仕上げが必要だが、不調時は拒否的。支払等は、ほぼ全介助。</p> <p>(家族構成、住環境(学校含)) 父、母、弟、祖母(認知症)。GH在住。 (成育歴) 自宅での破壊行動がひどくなり、中学部2年～高等部と21歳から入所。 (興味・関心のあること、好きなこと) ラーメン(すがきや)、プリン、レモンティー、「いつも通り」の生活 (得意なこと) 見通しを持っていてときの作業は、精度が高い。視覚支援で、理解が向上しやすい。 (苦手なこと) 言葉数や雑音の多さ。そういうことをする人。「いつも通り」の崩れ。</p> <p>(コミュニケーション) 話し言葉は、場面とのセットでパターンのに理解している程度(検査所見より)。 (その他) 過去に虫歯で不調に。</p>	<p>本人について</p> <p>体に関すること 感覚過敏。 不調と、不眠・浅眠や皮膚炎が関係している。</p> <p>心や気持ちに関すること 分かりにくさや情報過多が苦手で、そういった環境では自ら他者を指標にして安心感を得ようとする(“巻き込む”)。</p> <p>コミュニケーションに関すること 声かけを求めてくるが、言葉の理解は不十分。 簡易な絵や写真は一定理解できる。</p> <p>社会的・環境に関すること (家庭、施設、学校、地域資源、友人など) “巻き込み”で家庭生活が難しくなった。GHでも同様の面があるが、支援の改善により安定した。</p>	<p>① 分かりにくい状況・環境が苦手で、他者を指標にしようとする。</p> <p>② 「いつも通り」の継続だけだと、その“早送り”が強くなったり、本人がアレンジしてしまっていて、むしろしんどくなる。</p> <p>③ 苦手な環境。 1) 音や人などの刺激が多い。特に、空白の時間に。 2) 職員によって対応が違う。 3) 不眠、浅眠、アトピー性皮膚炎 4) お楽しみがない・少ない。</p>	<p>① 言葉かけを少なくして、視覚支援を使い、職員で対応を統一する。</p> <p>② 「いつも通り」を崩す変更も、分かりやすく提示すれば、むしろ有効。</p> <p>③ 過ごしやすい環境。 1) 静かで刺激が少ない。 2) 職員の対応統一 3) 不眠時頓服薬。興奮時頓服薬。塗り薬。濡れた冷たいタオルでの清拭。 4) 毎週水曜日の定期的なヘルプ利用。</p>	<p>① 「いつも通り」のパターンを保障。絵カードの活用。「人」による言動以外で、「始まり」「終わり」を示す。</p> <p>② 作業やヘルプの行先を、数パターン作る。その日にどれをやるか、視覚支援で予告する。</p> <p>③ 左記の実施</p> <p>[その他] 混乱時・興奮時に声掛けすると、余計に混乱等につながりやすいので、以下の支援を優先する。 ・絵カードやその時に使う具体物を見せる。 ・周囲の刺激を減らす。 ・頓服薬。 ・声掛けするならば、短くはっきりと。</p>

支援手順書 兼 記録用紙

資料A-②

利用者名	Aさん	作成日	2021年1月〇〇日	作成者	〇〇〇〇
サービス提供日時	2021年1月〇〇日 〇時〇〇分 ~ 〇時〇〇分			提供者	〇〇〇〇

時間	スケジュール (活動)	サービス手順		留意点	記録 (利用者の様子等)	
		(利用者の動き)	(支援者の動き)		○、△、×	
9:30	迎え		先に、GH職員から様子等引継ぎや荷物を受け取る。	不調時は、出発前に頓服服薬。		
9:35	玄関 → 乗車	GH職員からプールセットとおやつを受け取り玄関へ。→乗車。	挨拶して、車へ誘導する。			
9:35	予定の確認	予定を確認する	絵カードを1枚ずつ貼って、「〇〇に行きます」と予告。			
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		
10:30	プール(始まり)	入館 → 着替え	入館手続き等を済ませてから、車を降りてもらう。			
11:30	プール	体操 → 水中歩行5往復体操	①本人に見本を示しながら体操をする。 ②カード5枚を示して、1往復ごとにはがす。 ③本人に見本を示しながら体操をする。	体操の内容・順序も、職員間の統一が望ましい。		
11:30	プール(終わり)	シャワー → 更衣室(着替え) → 乗車	先導する。			
11:35	予定の確認	【終】プールのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	【終】プールのカードを片付けてもらう。 【始】次の行き先のカードを指でさしながら、「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動					
12:00	スガキヤで昼食	ラーメンを注文 → 席に座る → ラーメンを運ぶ → ラーメンを食べる → トレーを片付ける	①降車の声掛け。 ②ヘルパーで注文(ラーメン(ネギ抜き)のミニソフトセット(チョコ)) ③本人を座席に誘導。 ④タイマーが鳴ったら、本人と一緒に取りに行く。 ⑤食べ終わった後の返却も、本人にしてもらう。 ⑥車へ誘導。	人の少ない座席を選ぶ。		
12:45	予定の確認	【終】スガキヤのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	【終】スガキヤのカードを片付けてもらう。 【始】次の行き先のカードを指でさしながら、「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動					

13:15	コンビニ	プッチンプリン(大)とレモンティーを買う。→車内で食べる。	一緒に店内に入って、ヘルパーで商品を選んで、支払ってもらう。その後、車へ誘導。	リプトンのパックのレモンティーが無ければ、リプトンのペットボトルのレモンティーか午後の紅茶のレモンティー。		
13:30	予定の確認	【終】コンビニのカードをポーチに片付け、【始】次の予定を確認する。	【終】コンビニのカードを片付けてもらう。 【始】次の行き先のカードを指でさしながら、「〇〇に行きます」と伝える。			
	車での移動		本人の様子を見守る。不穏な様子があれば、安全な場所に停車して落ち着くまで待つ or 頓服を服用してもらう。	渋滞時は不穏になることがある。		
13:45	公園	駐車場・車内でおやつを食べる。食べたなら出発。	①駐車場についたら、予定ボードのおやつカードを見せながら声かけを行う。(一人で食べてもらう。) ②出発の用意ができたなら予定ボードを提示し、公園のカードを片付けてもらう。			
13:55	降車 → 玄関	車から降り、GHIに帰宅→自ら入室。	①駐車場についたら、ヘルパが先に降りて、本人をGHIに誘導する。			

【特記事項（考慮すべき点）】

○不穏時は頓服を服用。

○館内や店舗が混み合うことで本人に過度な刺激となるので、できるだけ人の少ない動線・駐車場所にする。

○休館時の代替の行き先：滋賀県立障害者福祉センターのプール、におの浜ふれいあいスポーツセンターのプール、皇子山公園で散歩、フォレオー里山店のスガキヤ、餃子の王将近江大橋東店、ローソン馬場一丁目店、セブンイレブン大津におの浜2丁目店

支援計画シート(案)

氏名 Bさん 年齢 24 歳 性別 男 (作成者 ○○○○ / 作成日 2021 年 1 月 ○ 日)

現在の生活や将来の生活について	
(1)本人の希望	心身ともに、安定して穏やかに過ごしたい。定期的に好きなものを楽しみたい。
(2)家族の希望	穏やかに過ごして、作業ができて、本人がほど良く楽しめる生活を送ってほしい。

本人の代表的なエピソード(気になる行動)	現在行っている対応
(1) エネルギーの発散が難しく衝動的に物壊しをすることが多い。	→ (1) 発散できる日課・活動を用意。不穏な時は話を聞いたり他の話題を振るなどする。
(2) 「楽しみ」なことでも情報の整理や感情の制御が苦手で衝動的な行動につながることもある。	→ (2) 情報は整理した上で必要な情報を視覚的なサポートも使って伝える。伝える時期にも配慮。
(3) 異性や便への興味が強く、便食などの行動がある。触法行為の恐れもあるので注意が必要。	→ (3) 職員の見守りと確認を欠かさない。

インテーク	アセスメント			プランニング
情報の収集・整理 (現在の生活)	分かったこと・推測したこと (本人の特性) ※特性確認シートに代えても可	支援課題 (本人が困っていること)	強み・ストレングス (本人の特性のリフレーミング)	対応・方針 (やろうと思うこと・支援のアイデア)
(障害) 知的障害、自閉症スペクトラム (疾病) 白内障 (検査結果) 歳時 新版K式検査 全領域 歳 ヶ月、認知適応 歳 ヶ月、言語社会 歳 ヶ月 6歳ぐらい (専門機関からの情報) 障害の意味では、分かりやすさや刺激・情報の調整、および、職員間の統一が支援のポイント。 (ADL) 食事、排泄、洗体等は自立。歯磨き、洗面は仕上が必要。支払い等は管理が必要。 (家族構成、住環境(学校含)) 父、母、妹。GH在住。 (成育歴) 衝動的な行動がひどくなり、高等部から県外入所。20歳～県内GHIに入所。 (興味・関心のあること、好きなこと) 音楽(主に女性歌手)、映画、便 (得意なこと) 目標、目的、手段が明確になっていると集中しやすい。視覚支援で、理解が向上しやすい。 (苦手なこと) 情報の多さとそれが整理できない状況。 (コミュニケーション) 言葉(文章)による理解と表出が可能。理解は大きくとらえがち。 (その他)	体に関する事 身体操作は不器用さがある。私物の機器操作などでうまく扱えず壊してしまうことがある。エネルギーに溢れており、発散するために踊っていることが多い。体調の変化を感じることができが説明は苦手。	① 色々情報を集めることができ、その中から「欲しい物、してみたいこと」などを考えている。その中で、思いが募ったり、必要な手順がわからずに混乱したりすることが多い。 ② 情報過多で整理しきれずに混乱することがある。 ③ 感情のコントロールやエネルギーの発散が苦手で、もの壊しなどに向かいやすい。そのような時に便への興味も強まる傾向にある。	① 興味のある情報を集めることができ、「欲しい物・してみたいこと」を考えることができる。また、手順などが明確になると一旦満足することができる。 ② 情報が整理されていると気持ちのコントロールができる。特に視覚的に整理されているとわかりやすい。 ③ 感情のコントロールやエネルギーの発散が上手くできていると落ち着いて過ごす事ができる。	① 「欲しい物、してみたいこと」について支援員と相談することで情報の整理をする ② 自分で予定表や欲しい物・したいことリストに書くことで視覚的に視覚的に整理をする ③ 身体を動かして発散する場・機会を設ける。また、支援員に自分が興味のあるもの・ことを話し情報を整理してもらうことで、気持ちを落ち着けるようにしていく。
	心や気持ちに関する事 分かりにくさや情報過多が苦手で、情報を整理できず、また思いも募り感情のコントロールが難しくなる。その発散として、私物を壊したりする。色々なことに興味関心を持ちやすい。何かをしていないと落ち着かない傾向にある。	コミュニケーションに関する事 会話でのやりとりができる。文字理解が可能で、視覚支援があると理解しやすい。相手を試すように色々要求をすることも多い。		
	社会的・環境に関する事 (家庭、施設、学校、地域資源、友人など) 家族の中で父がキーパーソン。父には頭が上がらない。			

支援手順書 兼 記録用紙

資料B

利用者名	Bさん	作成日	2021年1月〇〇日	作成者	〇〇 〇〇
サービス提供日時	2021年1月〇〇日 〇時〇〇分 ~ 〇時〇〇分			提供者	〇〇 〇〇

時間	スケジュール (活動)	サービス手順		留意点	記録 (利用者の様子等)	
		(利用者の動き)	(支援者の動き)		○、△、×	
9:00	迎え	車に乗ったら、今日の予定(行き先、購入するもの)を介助者と確認する。	車に乗ったら本人に行きたい場所、買いたいものを確認し、本人と一緒に行き先を決める。複数個所に行きたい場合は順路と時間を基に検討し、本人に伝える。	行き先や購入することに判断が迷う場合は「ケース会議で相談」と伝える		
	車での移動		移動中の車内で、出発前に本人と決めた行き先について、口頭で確認をする。			
9:30	公園で散歩	散歩で公園を1周する。	常に見守りを行う。散歩中は本人の横について歩く。	異性や便に対する興味が強いいため、同行には注意を払う。		
	車での移動		移動中の車内で、出発前に本人と決めた行き先について、口頭で確認をする。			
10:30	お店で欲しいものを見る・購入する	お店では欲しいものを中心に商品を見て回り、購入する者を介助者と相談しながら決め、購入する。	店内では本人の横について売り場まで移動する。本人は色々商品を見てから購入するものを決めるため、介助者は値段やお金の計算などの相談に乗りながら本人と一緒に購入するものを決める。支払いはレジで介助者が財布からお金を出し本人に手渡す。	異性や便に対する興味が強いいため、同行には注意を払う。		
	車での移動		移動中の車内で、出発前に本人と決めた行き先について、口頭で確認をする。			
12:00	昼食	昼食を注文(購入)し、食べる。テイクアウトの場合は公園もしくは車内で食べる。	残金から買えるものを本人に提示し、食べるものを本人に決めてもらう。支払いはレジで介助者が財布からお金を出し本人に渡す。テイクアウト可能な所は、出来るだけテイクアウトを利用する。	異性や便に対する興味が強いいため、同行には注意を払う。		
	車での移動		移動中の車内で、グループホームへ帰ることを口頭で伝える。			

13:00	送り	車を降りてグループホームへ帰る	本人と一緒にグループホーム玄関まで移動。グループホーム職員に外出中の様子や購入したものをなどを伝える。		
-------	----	-----------------	---	--	--

<p>【特記事項（考慮すべき点）】</p> <p>○異性や便に対しての興味が強く、トイレ関係のトラブルの可能性はある。そのため、トイレに行く際は本人と一緒にトイレに入り、本人の興味のあるものがないか確認を行う。</p> <p>○映画を希望することがある。その場合は、観たい映画の上映時間を調べ、サービス時間中に観ることが可能であれば行き先を映画館にする。その場合、公園・買い物はなし。昼食は必ず食べる。</p> <p>○性的な表現やインパクトの強い表現のあるDVDの購入や映画を観ることについては、「ケース会議で相談」と答えるようにする。その他、行き先や購入するものについて判断に迷う場合も「ケース会議で相談」と答え、その場で結論を出さないようにする。</p> <p>○行き先や購入するものなどに混乱が続くようであれば、出発前に手書きの予定表(A4サイズ用紙)を用意し、視覚的にも確認してもらう。</p>

支援計画シート(案)

氏名 Cさん 年齢 47 歳 性別 男 (作成者 ○○○○ / 作成日 2021 年 1 月 ○ 日)

現在の生活や将来の生活について	
(1)本人の希望	安心して暮らしたい。好きなものを楽しみたい。外出をした。
(2)家族の希望	元気に暮らして欲しい。

本人の代表的なエピソード(気になる行動)	→	現在行っている対応
(1) 外出をしたい思いから、一人で外に出かけてしまう事がある。	→	(1) 週一回以上、外出の機会を設け、週単位で予定を伝える。
(2) 好きな映像作品を楽しみたいと一人で外出してしまう事がある。	→	(2) 映像機器を使える環境を整える、機会を設ける
(3)	→	(3)

インテーク	アセスメント			プランニング	
情報の収集・整理 (現在の生活)	分かったこと・推測したこと (本人の特性) ※特性確認シートに代えても可	支援課題 (本人が困っていること)	強み・ストレングス (本人の特性のリフレーミング)	対応・方針 (やろうと思うこと・支援のアイデア)	
(障害) 知的障害、自閉症スペクトラム (疾病) (検査結果) 歳時 新版K式検査 全領域 歳 ヶ月、認知適応 歳 ヶ月、言語社 会 歳 ヶ月 歳ぐらい (専門機関からの情報) ぜんそく (ADL) 食事、排泄、洗体等は自立。歯磨き、洗 面は仕上が必要。支払い等は管理が必要。 (家族構成、住環境(学校含)) 母 GH在住。父は他界 (成育歴) 家族による見守りが難しかったためロ ングショート、10年前にGH入所 (興味・関心のあること、好きなこと) 音楽(主に女性歌手)、映画、便 (得意なこと) 手先は器用で細かい作業ができ る。電化製品の操作が可能。 (苦手なこと) 本人のつもりが崩れること。 (コミュニケーション) 単語による表出が可能。文字理解が高い。 (その他)	体に関すること 大きな音や苦手な相手の声は苦手と している。年齢からか腰や首の痛み を訴えることがある。空咳のような のをよくしており、最近になって喘息 持ちと判明。鼻に突起物を刺して血を 出すという感覚的なこだわりがある。	① 外出への期待感が高く、本人の中で「ど こへ行く」というつもりがある。予定の見 通しが持てないと不安定になりやすく、 一人で外に出てしまうことがある。	① 先に外出の予定日と時間を伝えておくこと で見通しを持つことができ、その予定に合 わせて行き先をパターンの的に考えることが できる。	① 毎週、休日にヘルプでの外出の予定を 入れ、前もって伝えておくことで安心して 待つことができるようにする。	
	心や気持ちに関すること 外への興味が強く、外出予定への期 待感が高く、現在は週一回以上の 頻度で外出の予定を入れている。フ ラッシュバックにより突然怒り出すこと があるが、その相手を見ること・近づ かれることがフラッシュバックのトリ ガーとなっているようである。	② 時代劇、戦隊ものなどの映像作品が好き だが、ドラマを一通り見るのではなく一 部分の映像を切り取って何度も繰り返し 見ている。インターネットで見ることが できることも知っており、ユーチューブで見 たい思いが募ることがある。	② DVD、ビデオ、パソコン(インターネット)な どの操作ができる	② 映像機器やインターネットが行える機 器の環境を整えたり、その機会を設け たりしていく。	
	コミュニケーションに関すること 本人は単語で要望を伝えている。相 手から伝えられることはワード的に捉 えているようである。文字の理解力が 高く、文字への興味も強く持ってお り、文字にして伝えることが有効。	社会的・環境に関すること (家庭、施設、学校、地域資源、友人など) 父は他界。母は健在だが、現在は後 見人を通してのやり取りに限定してい る。身上監護・財産管理で後見人が ついている。			
	本人について (環境について)				

支援手順書 兼 記録用紙 (案)

資料C

利用者名	Cさん	作成日	2021年1月〇〇日	作成者	〇〇〇〇
サービス提供日時	2021年1月〇〇日 〇時〇〇分 ~ 〇時〇〇分			提供者	〇〇〇〇

時間	スケジュール (活動)	サービス手順		留意点	記録 (利用者の様子等)	
		(利用者の動き)	(支援者の動き)		〇、△、×	
開始時刻 ()	迎え		車に乗ったら行き先の希望を聞く。	下記の行き先A~D以外の場合は、その場所の名称を紙に文字で書き提示し、本人に確認してもらう。		
スケジュール間の移動	車での移動	ラジオかCDを聴く	①ラジオかCDを希望されるので、希望されたものを聴いてもらう。 ②行き先について、再度口頭で伝える。			
想定時間 1時間 開始時刻 ()	行き先① A 家電量販店	電化製品(主に携帯電話)を見たり、操作したりして遊ぶ。	①本人が興味のあるものを色々見て回るので、本人と一緒に店内を回る。展示品を壊すことがないように見守りを行う。 ②時間が来たら移動を伝える。	他の客や店員の背中を叩かないように、間に入るなどの配慮が必要。		
	行き先① B 複合商業施設	電化製品・携帯電話の売り場を中心に見たり、操作したりして遊ぶ。その後おやつとジュースを買い食べる。	①本人が興味のあるものを色々見て回るので、本人と一緒に店内を回る。展示品を壊すことがないように見守りを行う。 ②一通り見てまわったら食料品売り場でおやつとジュースを購入し、フードコートで食べる。 ③時間が来たら移動を伝える。	他の客や店員の背中を叩かないように、間に入るなどの配慮が必要。		
	行き先① C インターネットカフェ	パソコンでユーチューブを視聴する、ドリンクバーでジュースを飲む。	①本人がパソコンを操作するので、見守りを行う。操作や文字入力に困っている時はサポートする。 ②本人がドリンクバーに行くときは、必ず付き添い機械の操作を見守る。 ③時間が来たら移動を伝える。	他の客や店員の背中を叩かないように、間に入るなどの配慮が必要。		
	行き先① D プレールーム	パソコンでユーチューブを視聴する。	①本人がパソコンを操作するので、見守りを行う。操作や文字入力に困っている時はサポートする。 ②時間が来たら移動を伝える。	他者の背中を叩かないように、間に入るなどの配慮が必要。		
想定時間 15分 開始時刻 ()	行き先②(Bの際は除く) コンビニ or スーパー	おやつ、パンor八つ橋、ジュースを買って食べる。	①本人に買いたいもの選んでもらい、レジまで誘導する。 ②介助者が支払いを行い、本人に商品を受け取ってもらう。 ③車へ誘導し、買ったものを車 or 公園で食べてもらう。	他の客や店員の背中を叩かないように、間に入るなどの配慮が必要。		

想定時間 15分 開始時刻 ()	昼食 コンビニ or スーパー ※昼食ありの時は 上記行き先②で昼 食も買う	昼食を買い車で食 べる。	「昼食あり」の時は上記行き先 ②で昼食も購入し、車 or 公 演で食べてもらう。	他の客や店員の背 中を叩かないよう に、間に入るなどの 配慮が必要。		
時刻 ()	送り	車を降りてグルー プホームへ帰る	本人と一緒にグループホーム 玄関まで移動。グループホー ム職員に外出中の様子や購 入したものをなどを伝える。			

【特記事項（考慮すべき点）】

○「いつものこと」であれば口頭での説明で理解ができる。視覚(文字)優位ではあるので、いつも以外の事はメモ用紙に文字で書いて本人に確認してもらおうと理解してもらいやすい。

○混乱や自傷が見られる際は、刺激の少ない場所で本人にメモ用紙に好きな文字を書いてもらうことで落ち着くことができる。

○見守りの無い状況では一人でどこかに行ってしまう事があるので、常に見守りが必要。過去に大阪や名古屋まで行ってしまったことがある。

○お金の計算はできないので、支払いは介助者が財布を預かり、介助者が支払いを行う。本人が財布を持つと、どこかに行ってしまうので注意が必要。

○面白がって他者(特に年配の男性)の背中を叩いたり、腕を抓ったりすることがあるので、外出先では他者との距離感など注意が必要。

○食べ過ぎることがあるため、おやつ等の量には注意が必要。